

施策番号	0205		
施策名	女性に対するあらゆる暴力の根絶		
概要	社会問題化している配偶者等からの暴力（DV）の根絶に向けた啓発や自立支援とともに、女性に対する性的いやがらせなど、あらゆる暴力の根絶に向けた広報・啓発を強化する。		
担当局・部室	文化市民局・共同参画社会推進部	共管局・部室	
上位政策	2 人権・男女共同参画		
施策に関係する 主な分野別計画等	第4次京都市男女共同参画計画，きょうと男女共同参画推進プラン		

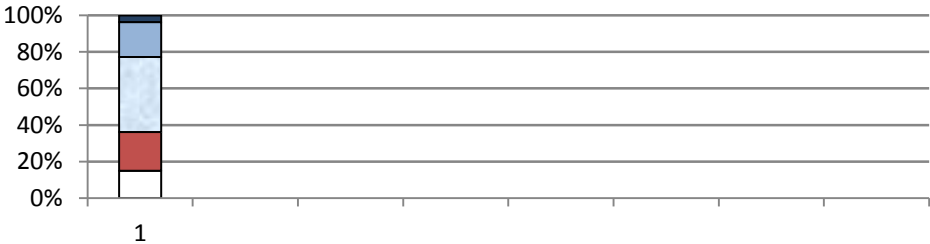
施策の評価

1 客観指標評価

指標名		23年度	24年度	25年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	配偶者暴力相談支援センターにおけるDVに関する対応件数(京都府)(件)	b	a	3,083	6,294	2,687	234.2%	a	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		b	a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		25年度回答					有効回答 者数	評価
		そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも言 えない	どちらかと言 うとそう思わ ない	そう思わ ない		
1	女性に対する暴力や性的いやがらせが根絶された社会になってきている。	19 3.6%	100 19.1%	215 41.1%	111 21.2%	78 14.9%	523	c
2	-							-
3	-							-
4	-							-
5	-							-
		市民生活実感調査総合評価						c



- そう思う
- どちらかと言とうとそう思う
- どちらとも言えない
- どちらかと言とうとそう思わない
- そう思わない

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					24 年度	B
	重み付け	☒ 客観指標	a	☐ 市民の実感	c		
(重み付けの理由) 対象が配偶者等からの暴力を受けた者という限定的な施策であり、市民の生活実態に施策の効果が直接反映されにくい性質であるため、客観指標総合評価を重視する。						24 年度	B
(原因分析) ・客観指標では、平成23年10月に京都市DV相談支援センターを開所し、平成24年度に実施した子育て世代への重点的な広報啓発等の効果もあいまって相談件数が大幅増となり、a評価となった。 ・市民の生活実態に施策の効果が直接反映されにくい性質であるため、市民生活実感調査ではどちらとも言えないとの回答が多く、c評価となったと考えられる。						23 年度	B

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		25年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		24年度 決算額	25年度 予算額		
1	D V 対策事業	69, 203	77, 077	かなり良い	文化市民局
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・平成23年度から実施している「第4次京都市男女共同参画計画 きょうと男女共同参画推進プラン」の中に、重点分野の一つとしてDV対策の強化を掲げ、「京都市DV対策基本計画」を策定した。本基本計画に基づき、配偶者等からの暴力の根絶に向けた取組を総合的かつ計画的に推進し、被害者に対して継続的な自立支援に重点を置いた取組を行う。また、京都市域のDV相談専門機関一覧のリーフレット等の配架場所の拡大や地下鉄車内広告等、日常生活で目に触れる機会を増やし、DVの基礎知識や支援を必要としている被害者に周知を図る。

施策名	0205	女性に対するあらゆる暴力の根絶				
指標名	配偶者暴力相談支援センターにおけるDVに関する対応件数（京都府）（件）					
担当課	男女共同参画推進課		連絡先	2 2 2 - 3 0 9 1		
1 指標の説明						
京都市DV相談支援センター及び京都府家庭支援総合センターにおける京都市域のDV（配偶者・交際相手等からの暴力）に関する関係機関との調整件数を含む対応件数						
2 指標の意味						
重大な人権侵害であるDVの救済に向けた貢献度を示す指標						
3 算出方法・出典等						
出典：事業担当課及び京都府家庭支援総合センター調査						
4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	23年度	24年度		数値	根拠	達成度
数値	3,083	6,294	3,211件増	2,687	32年度の目標値達成のため、当該年度達成すべき数値（※前年度数値比73件増）	234.2%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値		3,264件	32年度	192.8%	平成21年度実績(2,468件)を基準に、5年毎に15%増の目標値を設定。	
5 評価基準						
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：70%以上100%未満 c：30%以上70%未満 d：10%以上30%未満 e：10%未満						
6 基準説明						
・目標値を達成すればa評価 ・以下20～40%刻みでb～e評価						
7 評価結果						
23	24	25				
b	a	a				